

取扱説明書

LGデジタルサイネージ (モニターサイネージ)

このたびはLGサイネージモニター製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

55EW5TF
55EW5TF-A

目次

安全上のご注意 3

- ACアダプターと電源に関するご注意 4
- 本製品を移動する際の注意 6
- 本製品設置の際の注意 7
- 製品のお手入れに関する注意事項 9
- 本製品使用の際の注意 10
- リモコンを使用するときの注意事項 12
- 残像が発生するときの注意事項 13
- 本製品の廃棄 13

組み立てと準備 14

- 製品の設置 15
- 設置に関する安全および注意事項 16
- IRレシーバー 18

リモコン 19

接続 21

- PCへの接続 21
- 外部機器接続 21
- 入力選択の使用 22
- 複数モニターの接続 23

トラブルシューティング 24

製品仕様 30

ライセンス 33

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

安全上のご注意

予期しない危険や製品の不具合が発生しないよう、本製品を正しく、安全にご使用いただくことを目的としています。

警告

警告に従わない場合、重大な負傷もしくは死亡するおそれや、重大な事故が発生するおそれがあります。

注意

注意に従わない場合、負傷したり、製品が破損するおそれがあります。

警告

本製品は屋外には設置できません。設置業者が設置して、屋内でのみ使用してください。

ACアダプターと電源に関するご注意

警告

- 電源コードやACアダプターは、必ずLG Electronics, Inc.が提供または認定したものを使用してください。付属品以外の電源コードを使用する場合は、法律、法令の基準を満たしているかご確認ください。電源コードに何らかの異常が見られる場合は、速やかに使用を中止して、カスタマーセンターにご相談ください。
- 製品仕様に記載される定格電力に合致するコンセントに接続してください。
 - 本製品の故障、火災、感電につながるおそれがあります。接続するコンセントの定格電力が不明の場合は、設置業者または、販売元にご相談ください。
- 電源コードは必ずアース付きコンセントに接続してください。
 - 感電、負傷、本製品の破損につながるおそれがあります。
- 電源プラグまたはACアダプターが緩まないように、根元までしっかりと挿入してください。
 - 不完全な接続は、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 落雷時は電源コードや信号ケーブルに触れないでください。
 - 感電するおそれがあり、非常に危険です。
- 電源コードやACアダプターの上に乗ったり、重いもの（家電製品、衣類など）を乗せないでください。また、電源コードまたはACアダプターを曲げたり、過度の力で引き抜いたりしないでください。
 - 電源コードの破損、断線により、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 傷の入った電源コードまたはACアダプターをコンセントに接続しないでください。
 - 火災や感電のおそれがあります。
- 電源コードの一端がコンセントに接続されているとき、電気を通しやすいもの（クリップなどの金属製品）でもう一端に触れないでください。また、電源コードを取り外した直後に触れないでください。
 - 火災や感電のおそれがあります。
- マルチタップを使用する場合は、電気製品を多数接続しないでください。また、消費電力の大きな製品（電熱器や電気ストーブなど）を同じタップに接続しないでください。アース端子のある専用のマルチタップコンセントを使用してください。
 - 異常発熱により火災が発生するおそれがあります。

- ・ 本製品の内部に水分や異物が混入した場合、すみやかに電源コードを抜いてカスタマーセンターにご相談ください。
 - 本製品が損傷し、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- ・ 電源コードまたはACアダプターを加熱装置から離してください。
 - コードの被膜が溶けて、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- ・ 電源コードやACアダプターを分解、修理、改造しないでください。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- ・ 主電源遮断装置は電源コードであり、いつでも、抜き差しできるコンセントの近くに本製品を設置してください。
- ・ 本製品はACコンセントに接続されているかぎり、電源をオフにしても、AC電源からは切断されません。
- ・ 電源プラグを外した場合のみ、消費電力が「0（ゼロ）」になります。
- ・ 断路装置として、電源接続器を使用してください。

注意

- ・ コンセント、電源プラグのピン、ACアダプターにホコリや異物が付着している場合は、拭き取り、清潔な状態で使用してください。
 - 付着物が過熱して、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- ・ コンセント、電源プラグのピン、ACアダプターに水がかかった場合は、拭き取り、清潔な状態で使用してください。また、濡れた手で電源プラグやACアダプターに触れないでください。
 - 感電するおそれがあり、非常に危険です。
- ・ 電源コードの抜き差しで電源のオン、オフをしないでください。電源プラグをスイッチ代わりに使用しないことを意味します。
 - 感電や製品の誤作動の原因となるおそれがあります。
- ・ 本製品の使用中にコンセントから電源コードを抜かないでください。
 - 感電または製品が故障するおそれがあります。

本製品を移動する際の注意

警告

- 本製品を移動する際は、お求めになった販売代理店または弊社カスタマーセンターにご相談ください。
 - 感電や製品の破損の原因となる恐れがあります。
- 本製品を移動する前に、電源がオフになっていること、電源ケーブルとその他すべてのケーブルが取り外してあることを確認してください。
 - 本製品の破損や、負傷につながるおそれがあります。
- 本製品を移動するときは、製品に衝撃を与えたり、製品のフロントパネルに衝撃を与えないでください。
 - 本製品の破損や、負傷につながるおそれがあります。
- 重量に合わせた人数で作業してください。（1人あたり25kg未満、100kgを超える場合は機器を使用してください）
 - 本製品が破損した場合は、カスタマーセンターにご相談ください。感電や火災のおそれがありますので、絶対に使用しないでください。
- スタンドだけを持って製品を逆さまにしないでください。（スタンド対応モデルの場合のみ。）
 - 落下によって、製品の破損の原因になります。また、負傷するおそれがあります。

注意

- 本製品の輸送時は破損を防ぐため、本製品の梱包箱や緩衝材を使用することをお勧めします。製品をこの箱に入れて、持ち運ぶことができます。

本製品設置の際の注意

⚠ 警告

- 本製品の設置については、販売代理店またはカスタマーセンターまでご相談ください。
 - 感電や製品の損傷の原因となる恐れがあります。
- 本製品の上に物を落としたり、衝撃を与えないでください。本製品をお子様の手の届かないところに保管してください、また、画面に物が投げられないよう、本製品の近くにおもちゃや物を置かないでください。
 - 本製品の破損や、負傷、感電につながるおそれがあります。
- 重い物を本製品の上に置いたり、ぶら下がるなど荷重をかけないようにしてください。
 - 本製品が倒れたり、落下により負傷するおそれがあります。
- 製品の表面に触らないでください。
 - 火傷につながる恐れがあります。
- 風や地震など外部からの衝撃に耐えられるよう、壁や床などへの設置はしっかりと動かないようにしてください。
 - 付属のマニュアルを必ず参照してください。
- お子様の本製品に登ったり、ぶら下がるなど荷重をかけないように指導してください。
 - 本製品が倒れたり、落下により負傷するおそれがあります。
- 電気ヒーターまたは照明器具など発熱する物の近くに設置しないでください。
 - 火災、感電、誤動作の原因となるおそれがあります。
- 本製品をご自身で設置しないでください。本製品の破損を招いたり、負傷につながるおそれがあります。カスタマーセンターまたはお求めになった販売代理店にご相談ください。
- 油類や油煙にさらされる可能性のある壁に、本製品を設置しないでください。
 - 本製品の損傷または故障の原因になる可能性があります。
- 人が通る場所に電源コードや信号ケーブルを放置しないでください。
 - 人がつまずいたり転倒により負傷するおそれがあります。また、感電、火災、本製品の故障の原因となるおそれがあります。
- 接続するケーブルは短いものを使用しないでください。
 - 本製品が倒れたり落下によって、破損やケガにつながるおそれがあります。
- 本製品が落下したり筐体が破損した場合は、すみやかに電源をオフにして、コンセントから電源コードを抜き、カスタマーセンターにご相談ください。
 - そのまま使用すると、感電や火災の原因となるおそれがあります。
- 本製品はホコリや水分のない乾燥した場所に設置してください。高温多湿な場所には設置しないでください。
 - 感電、火災、本製品の損傷の原因となるおそれがあります。
- 本製品の重量に十分耐えられる安全な場所に設置してください。
 - 強度が不足すると製品が落下する恐れがあります。
- 本製品で作業するときは、筋肉が緊張しないよう、快適で自然な姿勢を維持してください。

 注意

- 本製品は電磁干渉のない場所に設置してください。
- 推奨される条件を満たさない場所に本製品を設置すると、画質、寿命、および外観に深刻な影響が出るおそれがあります。設置する前に、お求めの販売代理店またはカスタマーセンターにご相談ください。ホコリの多い場所、油煙が発生する場所、化学物質のある場所、直射日光が当たる場所、温度が極端に高いまたは低い場所、湿度が高い場所には設置しないでください。
- 壁に設置する場合は、十分な距離（10cm以上）離して、通気性を確保してください。
 - 壁との距離が近すぎると、内部温度が上昇して、本製品の変形や故障、火災につながるおそれがあります。
- 本製品を設置する際、カーテンやテーブルクロス、またはその他の素材（プラスチックなど）が通気口を塞がないよう注意してください。
 - 内部温度の上昇により、変形したり火災につながるおそれがあります。
- 通気性の悪い場所（本棚、クローゼットなど）や屋外に本製品を設置しないでください。クッションやカーペットの上に設置しないでください。
 - 内部温度の上昇により、製品が発火する恐れがあります。
- 本製品の荷重に耐えられる平らで安定した場所に設置してください。
 - 本製品の落下により、本製品の破損やケガを負うおそれがあります。
- 棚またはキャビネット上に本製品を設置するときは、製品の下端が前方に突き出していないことを確認してください。
 - 重心が不安定になることにより本製品が落下し、負傷または製品の損傷につながる恐れがあります。必ず製品に合うキャビネットや棚を使用してください。

製品のお手入れに関する注意事項

⚠ 警告

- 本製品は常に清潔な状態を保ってください。
 - 本製品を長期間お手入れしないと、製品にホコリや異物が付着し、火災または製品の損傷につながる恐れがあります。
- 製品内部のメンテナンスについては、カスタマーセンターにご相談ください。
 - そのまま使用すると、火災、感電、製品の損傷のおそれがあります。
- 本製品をお手入れする場合は、コンセントから電源コードを抜いて、傷をつけないように柔らかい布で拭いてください。
 - 傷がつくと、感電または画面の損傷につながる恐れがあります。
- フロントフレームのお手入れは、柔らかい布に2～4回水を吹き付け、必ず一方向に向かって拭いてください。
 - 水分が多すぎるとしみの原因になる可能性があります。

⚠ 注意

- 製品または画面のお手入れは、コンセントから電源コードを抜いて、柔らかい布で拭いてください。水や洗浄液などの液体を直接本製品にかけないでください。また、ガラスクリーナー、消臭スプレー、殺虫剤、潤滑剤、ワックス（車、工業用）、研磨剤、揮発性溶剤（ベンジン、シンナー、アルコールなど）は使用しないでください。筐体やパネルが損傷するおそれがあります。
 - 火災、感電、本製品のパネルまたは筐体の損傷（変形、腐食、破損）の原因となるおそれがあります。

本製品使用の際の注意

警告

- 温度や湿度が非常に高い環境で使用しないでください。
- 画面を長時間見るときは、定期的に休憩をとってください。
 - 長時間画面を見続けると眼精疲労や肩こり、視力の低下につながる恐れがあります。
- 音声を大音量または長時間出力し続けると聴力に影響を及ぼす恐れがあります。
- 本製品に液体がかかったり異物が混入した場合は、速やかに電源をオフにして電源コードをコンセントから抜き、カスタマーセンターにご相談ください。
 - コンセントから抜いた時の火花によって引火し、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 画面に画像が表示されない場合や音が聞こえない場合は、製品の使用を中止してください。直ちに製品の電源をオフにして、電源コードをコンセントから抜き、サービスセンターに連絡してください。
 - コンセントから抜いた時の火花によって引火し、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 本製品に強い衝撃を与えないでください。
 - パネルの破損や、負傷、感電につながるおそれがあります。
- 本製品から煙、異臭や異音が発生した場合は、速やかにコンセントから電源コードを抜き、カスタマーセンターにご相談ください。
 - そのまま製品を使用し続けると、感電または火災につながる恐れがあります。
- ご自身で本製品を分解、修理、改造しないでください。改造や分解による故障は保証の対象外になります。
 - 火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 本製品の上または近くに液体の入った容器や水分を含んだものを置かないでください。
 - 内部に液体が混入すると、発火、感電、誤作動、または変形するおそれがあります。
- 手や爪、鉛筆、ペンなどの鋭利なもので製品の表面を強く押したり引っかいたりしないでください。金属類でパネルの前面や側面に衝撃を与えたり引っかいたりしないでください。
 - 本製品の損傷または誤動作の原因になる可能性があります。
- 本製品が直射日光または強い光に曝された場合、過熱する可能性がありますので、製品に触れないでください。

- 本製品の近くで高電圧電気製品（殺虫灯など）を使用しないでください。
 - 電気の衝撃によって、本製品が誤動作する可能性があります。
- ガス漏れがある場合は、コンセントに触れずに、窓を開けて換気してください。
 - コンセントから抜いた時の火花によって引火し、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 本製品に強い衝撃を与えたり、筐体が破損した場合は、本製品の使用を中止し、速やかに電源をオフにして、電源コードをコンセントから抜き、カスタマーセンターにご相談ください。
 - そのまま使用すると、感電や火災の原因となるおそれがあります。製品の使用を中止して、カスタマーセンターにご相談ください。
- 付属品等小さなパーツはお子様の手の届かない場所に保管してください。
 - 子供が飲み込んでしまった場合は、すぐに医師に相談してください。
- お子様の手の届かないところに本製品を保管してください。また、おもちゃや物を製品または画面に投げつけないでください。
 - パネルの破損や、負傷、感電につながるおそれがあります。
- 装置すべての電力を取り除くには、電源ケーブルを取り外して、すべての電源を切断する必要があります。

注意

- 液晶パネルまたは有機ELパネルは、数百万ピクセルの高精度な製品です。画面の一部にドット抜け（ごく小さな白、黒、赤、青、緑などの点）が見えることがあります。これは製品上の特性であり、製品不良、故障ではありません。
- 本製品の近くに引火性の物質を置いたり、保管したりしないでください。
 - 爆発または火災が発生するおそれがあります。
- 画面を見るときは適切な距離を維持してください。
 - 本製品を近くで見すぎると、視力が低下する恐れがあります。
- 製品の適切な解像度と周波数に設定してください。
 - 視力が低下する恐れがあります。
- 長時間画面を見続ける場合は、定期的に休憩をとってください。

リモコンを使用するときの注意事項

警告

- 湿度の高い場所を避けてください。
 - 本製品の故障や、感電につながる恐れがあります。
- 直射日光、暖炉、電気ヒーターなどの暖房機器の近くなど、高温になる場所の近くに電池を保管、放置しないでください。
 - 火災または負傷につながる恐れがあります。
- リモコンの電池交換時に、子供が電池を飲み込まないようにお気をつけください。電池は子供の手の届かない場所に保管してください。
 - 子供が電池を飲み込んでしまった場合は、すぐに医師に相談してください。
- 電池を火の中に廃棄しないでください。
 - 最寄りのリサイクルセンターまたは電池を取り扱う小売店に電池を廃棄してください。
- 充電式電池を含む使用済電池は、ごみとは別にリサイクルしてください。
 - 最寄りのリサイクルセンターまたは電池を取り扱う小売店に使用済電池や充電式電池を廃棄してください。

注意

- 電池を短絡させたり、分解したりしないでください。
 - 感電または火災の原因となる恐れがあります。
- リモコンは、直射日光や強い光が当たる場所では正常に機能しない場合があります。強い光の当たる状況下で使用する場合は、製品の位置を調整してください。
- 本製品とリモコンに間に障害物がないことを確認してください。
- 新しい電池と古い電池を一緒に使用しないでください。
 - 電池の過熱や液漏により、火災や感電のおそれがあります。
- 電池は指定されたタイプのものを使用してください。充電式ではない電池を充電器に入れないでください。
 - 電池の過熱や液漏により、火災や感電のおそれがあります。

残像が発生するときの注意事項

- ・ 静止画像を長時間表示したままにしておくと、画面が焼き付き、残像が発生する場合があります。これは、液晶パネルまたは有機ELパネルの特性であり、焼き付きについては保証の対象外となります。焼き付きが起こらないよう、静止画を長時間表示させないでください。
 - スクリーンセーバーを使用するなど、定期的に違う映像を表示させてください。

本製品の廃棄

- ・ 本製品を一般家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。
- ・ 本製品の廃棄は、地方自治体の定める廃棄方法に則って正しく処分してください。

組み立てと準備

注意

- 本製品を安全にお使いいただくため、付属品または弊社が認定した部品を使用してください。
- 付属品以外の部品の使用により発生した製品の故障、破損、負傷、事故は保証の対象外になります。
- 電源コードは、コンセントに差し込む前に本製品に接続してください。電源コードを先にコンセントに差し込むと、感電する可能性があります。本製品の故障の原因になります。
- 本製品を前面/背面に直射日光の当たる場所で使用しないでください。
- 本製品には、設置用のスタンド、壁掛け金具は付属していません。

ヒント

- 製品の付属品はモデルや地域によって異なります。
- 製品仕様または取扱説明書の内容は、製品の品質向上のため、予告なく変更されることがあります。
- SuperSignソフトウェアおよびマニュアル
 - LG ElectronicsのWebサイトからのダウンロード。
 - LG ElectronicsのWebサイト (<http://partner.lge.com>) にアクセスして、ご使用のモデル用の最新のソフトウェアをダウンロードしてください。
- 本製品の品質は、直射日光や過度のほこりのある場所での使用については保証されていません。

製品の設置

本製品には、設置用のスタンド、壁掛け金具は付属していません。

⚠ 注意

- ・ モニターの移動または設置は、電源コードを抜いてから作業してください。そのまま作業すると感電するおそれがあります。
- ・ モニターを天井に設置すると、モニターが落下してケガをする可能性があります。本製品お求めの販売代理店、専門の設置業者または弊社カスタマーセンターにご相談ください。
- ・ お子様の本製品に登ったり、ぶら下がるなど荷重をかけないように指導してください。製品が破損したり、お子様が負傷するおそれがあります。

✔ ヒント

- ・ 通気性が悪い場所（本棚やクローゼットなど）や、カーペット、クッションの上には設置しないでください。壁に設置する場合は、設置する前に十分な通気性を確保できることを確認してください。
 - 通気が不十分な場合、内部温度の上昇により発火するおそれがあります。

⚠ 警告

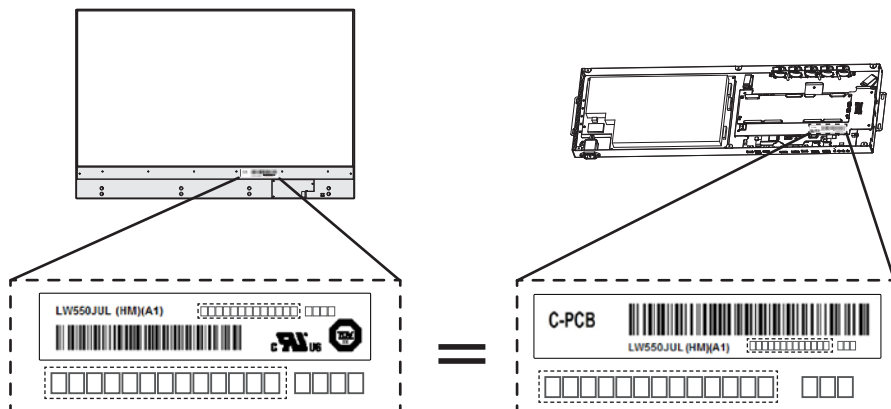
- ・ モニターを安定した場所に設置しないと、落下するおそれがあります。以下のような対策を施すことで、事故や負傷の危険性を軽減することができます。
 - 製品をしっかりと支えることができる固定器具と家具のみを使用してください。
 - モニターを設置する家具の端から製品がはみ出さないようにする。
 - 背の高い家具（戸棚や本棚など）にモニターを設置しない（やむを得ず設置する場合は、家具とモニターの両方を適切な場所、強度で固定する）。
 - 布などを敷いた家具の上にモニターを設置しない。
 - モニターに触れるために家具の上に登らないようお子様に指導する。
 - 本製品をアンカーボルトを固定できる壁に取り付ける。
 - 本製品を安全に支えることができる場所に取り付ける（コンクリート、合板、MDFなど）。

設置に関する安全および注意事項

すべての作業が完了したら、電源を接続してください。

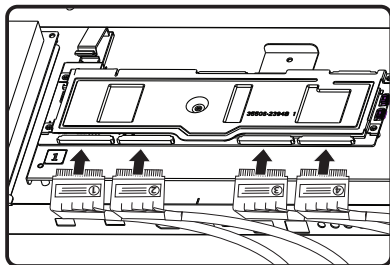
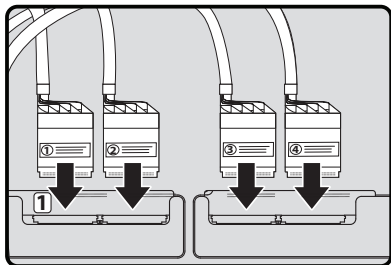
サイネージボックスとパネルの接続

- 保証は、設置時の静電気放電によるコンポーネントの損傷には適用されません。この製品を設置するときは、静電気防止装置（ESD）を着用してください。
- パネルとサイネージボックスにそれぞれ貼付されているシリアル番号は一致している必要があります。シリアル番号が一致しないと、画面がぼやけたり、製品が誤動作したりする可能性があります。

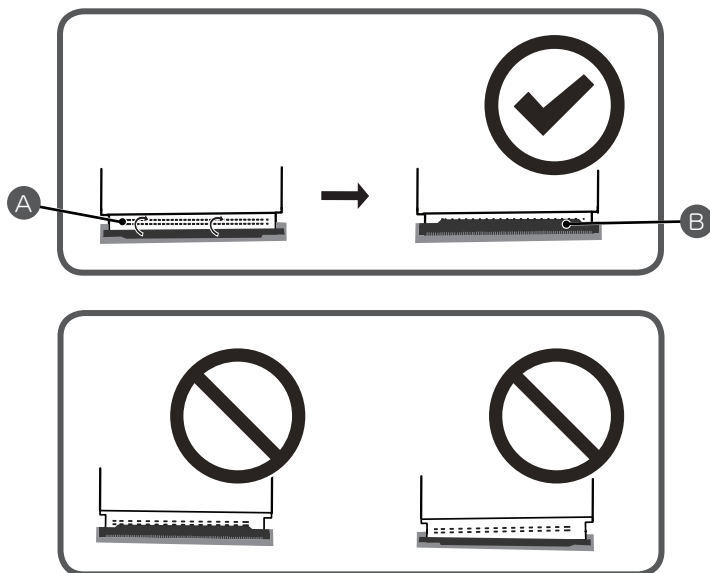


ケーブルの接続

- パネルの背面とサインネジボックスのラベル①に従って、ケーブルを順番に接続します。
- ケーブルには番号 ① ② ③ ④ のラベルが付いています。



- **A** ケーブルに示されているガイドラインに従って、ケーブルをコネクタに正しく挿入し、**B** コネクタのロックバーを閉じます。
- 製品の誤動作や故障を防ぐため、取り付けたケーブルを振ったり引っ張ったりしないでください。損傷したケーブルは新しいケーブルと交換してください。

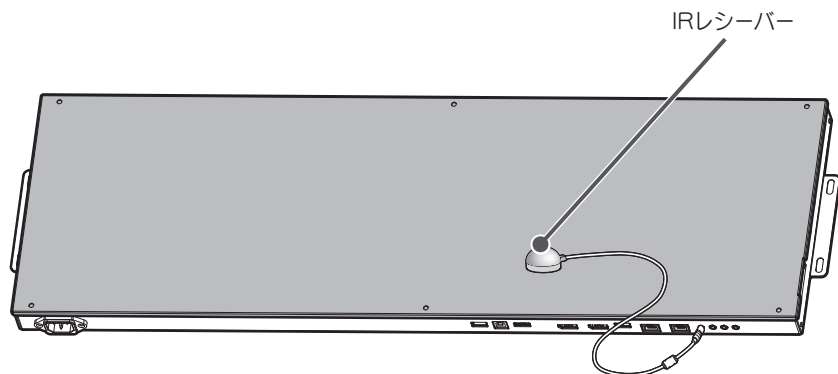


直射日光

- 直射日光の当たらない場所に設置してください。

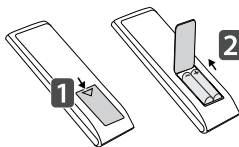
IRレシーバー

IRレシーバーの使用により、リモコンセンサーをお望みの場所に設置することができます。これにより、本製品はRS-232Cケーブルを接続することで別のモニターも操作することができます。



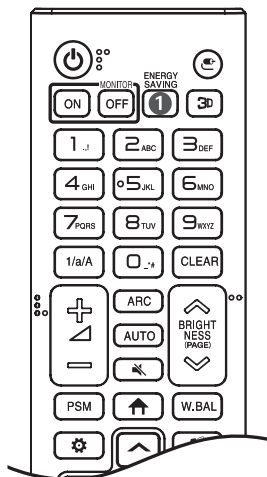
リモコン

本取扱説明書にある記述は、リモコンのボタンに基づいています。本書をよくお読みいただいて、正しい方法でモニターを使用してください。電池を取り付けるには、電池カバーを開け、1.5 Vの単四電池を、⊕ と ⊖ 極の方向をボックス内のラベルの表示に合わせて取り付け、電池カバーを閉じます。電池を取り外すには、取り付けと逆の手順を行います。イラストはイメージです。実際の付属品と異なることがあります。



⚠ 注意

- ・ リモコンが故障するおそれがあるので、古い電池と新しい電池は一緒に使用しないでください。
- ・ リモコンは必ずモニターのIRレシーバーに向けてください。
- ・ モデルによっては、リモコンの一部の機能をサポートしていない場合があります。
- ・ 製品の内部及び外部の電池は極端に高温な場所（直射日光のあたる場所や火など）に置かないでください。



⏻（電源）：モニターの電源のオン/オフを切り替えます。

MONITOR ON：モニターをオンにします。

MONITOR OFF：モニターをオフにします。

① ENERGY SAVING：画面の明るさを調整して、消費電力を抑えます。

☞（入力）：入力モードを選択します。

3D：本製品は対応していません。

数字/アルファベットボタン：設定に応じて数字またはアルファベットを入力します。

1/a/A：数字とアルファベットを切り替えます。

CLEAR：入力した数字またはアルファベットを削除します。

⏮ ⏪ ⏩ ⏭（音量ボタン）：音量を調整します。

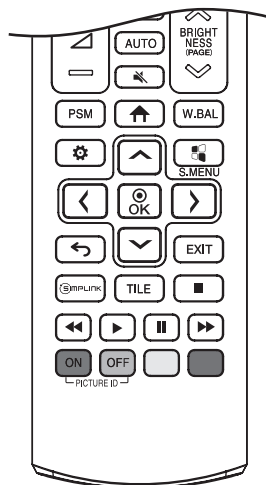
ARC：画面サイズモードを選択します。

AUTO：自動的に映像の位置を調整し、揺れを最小限に抑えます（アナログ入力のみで使用可能）。

🔇（ミュート）：音量をミュートに設定します。

⏮ BRIGHTNESS ⏭：画面の明るさを調整します。

PAGE：本製品は対応していません。



PSM：ピクチャーモードを選択します。

▲（ホーム）：ランチャーを起動します。

W.BAL：「ホワイトバランス」メニューが表示されます。

⚙️（設定）：メインメニューへのアクセス、入力の保存、メニューの終了に使用します。

⏏️ S.MENU：SuperSignメニューキーです。

⬅️ ⬇️ ⬅️ ➡️（ナビゲーションボタン）：メニューやオプションを操作します。

Ⓞ：ナビゲーションボタンで選択した項目を決定します。

⬅️（戻る）：一つ前の項目に戻ります。

EXIT：すべてのOSDタスクとアプリケーションを終了します。

🔗 SIMPLINK：本製品に接続したSIMPLINKに対応したデバイス进行操作できます。

TILE：タイルモードを選択します。

PICTURE ID ON/OFF：ピクチャーIDとセットIDの番号が等しい場合に、該当のモニターをマルチディスプレイ形式で制御できます。

▶️ ⏮️ ⏪️ ⏸️ ⏩️（USBメニューコントロールボタン）：メディアの再生をコントロールします。（本製品は対応していません。）

接続

本製品にはさまざまな外部デバイスを接続できます。入力モードから外部デバイスを接続した映像入力端子を選択します。外部デバイスの接続の詳細については、各デバイスに付属する取扱説明書を参照してください。

PCへの接続

一部のケーブルは別売です。このモニターは、Plug and Play*機能に対応しています。

*Plug and Play機能：PCの電源がオンになっている状態で、デバイスを接続すると、設定や操作せずにPCが自動的にデバイスを認識する機能です。

- ・USBケーブル（タイプA-タイプB）を使って、PCをこの製品にで接続する場合、製品の画面をタッチして、接続されているPCを制御してください。

外部機器接続

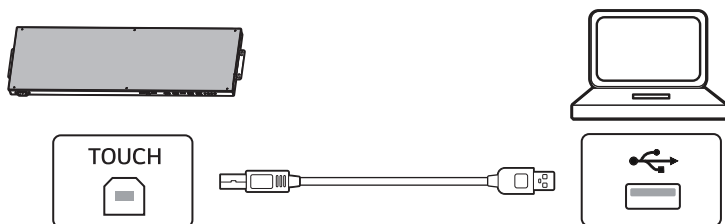
一部のケーブルは別売です。HDレシーバーやブルーレイ/DVDプレーヤー、ビデオデッキなどの映像機器をモニターに接続し、接続した入力端子を選択します。

最適な映像および音声品質を得るために、HDMIケーブルを使用して外部機器とモニターを接続することをお勧めします。

✔ ヒント

- ・最適な画像品質を得るには、HDMI接続でモニターを使用することを推奨します。
- ・本製品の仕様に準拠するために、各種映像信号ケーブル（DisplayPort/HDMI）は、必ずフェライトコアでノイズ対策されたケーブルを使用してください。
- ・本製品が冷えている状態でモニターの電源をオンにすると、画面がちらつくことがあります。これは液晶パネルの特性であり、製品不良、故障ではありません。
- ・まれに画面に小さな点が表示されることがありますが、これは液晶パネルの特性であり、製品不良、故障ではありません。
- ・高速HDMI®/™ ケーブル（長さ3m以内）を使用してください。
- ・HDMI口付きの認証済みケーブルを使用してください。認証されていないHDMIケーブルを使用すると、画面が表示されなかったり、接続エラーを起こすことがあります。
- ・推奨のHDMIケーブルのタイプ
 - 高速HDMI®/™ケーブル
 - イーサネット対応高速HDMI®/™ケーブル

- HDMI接続で音声が出力されない場合は、PCの設定を確認してください。一部のPCでは、基本の音声出力をHDMIに手動で変更する必要があります。
- HDMI端子にPCを接続して使用する場合は、PC/DTVをPCモードに設定する必要があります。
- HDMI端子にPCを接続して使用すると、互換性の問題が発生することがあります。
- 各ケーブルを接続する際は、電源ケーブルが抜かれていることを確認してください。
- ゲーム機器をモニターに接続する場合は、ゲーム機器に付属するケーブルを使用してください。
- 外部PCに接続してタッチスクリーンとして使用する場合、タッチスクリーンデバイスが製品を認識して外部PC間のタッチ入力切り替わるまでに時間がかかるため、しばらくタッチ機能が動作しない場合があります。



⚠ 注意

- 液晶パネルを指で押さないでください。一時的に画面が乱れることがあります。
- 一時的な残像を防ぐため、画面に静止画像を長時間表示しないでください。なるべくスクリーンセーバーを使用してください。
- ワイヤレス機器がモニターの近くにある場合、映像が乱れるなどの悪影響を及ぼすことがあります。

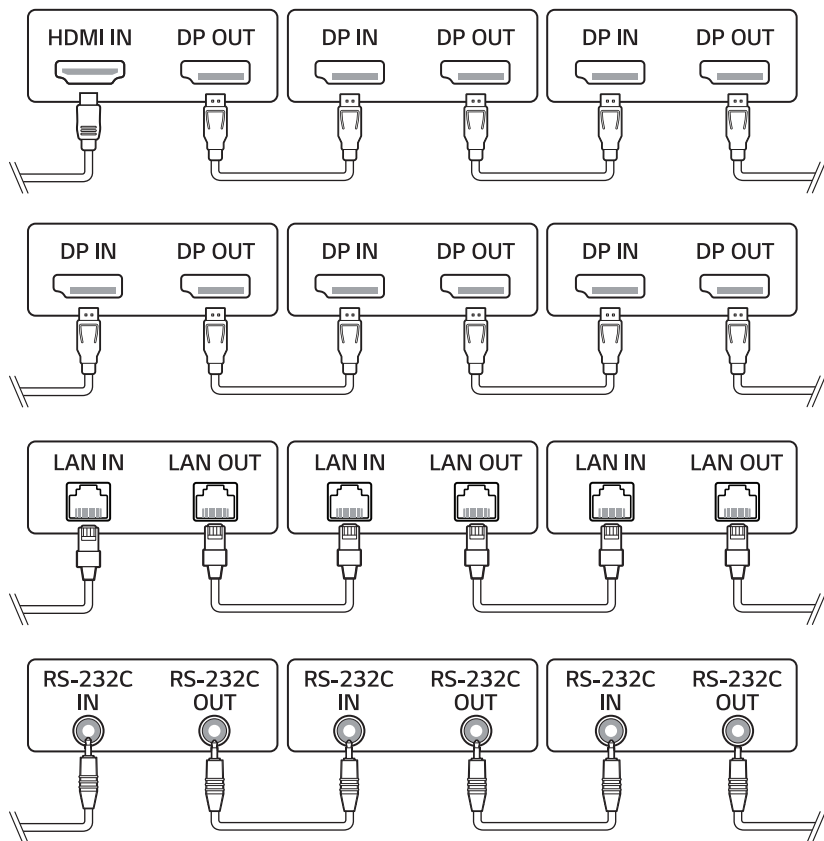
入力選択の使用

🏠 (ホーム) → 🔄

- HDMI → DISPLAYPORT

複数モニターの接続

マルチ画面（複数のモニター）で使用するには、まず外部デバイスを本製品に接続し、対応の信号ケーブルを本製品の OUT（出力）コネクタともう一台のモニターの IN（入力）コネクタに接続します。



✓ ヒント

- HDCPをサポートする入力デバイスによっては、デジチェーンでのビデオ出力接続が制限されている場合があります。

トラブルシューティング

- » モデルによって確認する項目は異なります。
- » PC側の設定については、Windowsヘルプをご参照ください。

使用に関する問題

- ・ 電源が入らない。
 - 電源コードがコンセントに正しく差し込まれているかどうかを確認してください。
 - ACアダプターのブレード、接合部に汚れが付着していないか確認してください。
- ・ 正常に認識されない。
 - PC（グラフィックスカード）のドライバがインストールされているか確認してください。
 - PC（グラフィックスカード）の取扱説明書により、Plug and Play機能がサポートされているかどうかを確認します。

画面に関する問題（ビデオ）

- ・ 「信号がありません」または「形式が無効です」というメッセージが表示される。
 - 信号ケーブルが接続されているか、正しく接続されているか確認してください。
 - 機器が接続されている映像端子に設定されているか確認してください。リモコンで入力を切り替えてください。
 - PC（グラフィックカード）からの信号が、本製品の垂直周波数または水平周波数の範囲から外れていないか確認してください。本取扱説明書の「製品仕様」を参照して、垂直走査周波数を設定してください。
- ・ 画面の位置が正しくない
 - グラフィックカードの解像度と周波数がモニターでサポートされているか確認してください。周波数がサポートされている範囲を超える場合は、PCの設定を推奨の解像度に設定してください。
 - D-Subアナログ信号 - リモコンの**AUTO**ボタンを押して、現在のモードに最適な画面状態を自動選択してください。さらに調整が必要な場合には、OSDメニューで、手動で表示設定を調整してください。

- 画面が正常に表示されない。
 - 映像出力信号に適した映像信号ケーブルを接続してください。
 - パネルとサイネージボックスを接続するときは、それらのシリアル番号を確認し、それらが一致することを確認してください。シリアル番号が一致している場合は、電源コードを一度抜いて再接続し、パネルノイズクリア機能を実行してください。（この機能を実行すると、システムが自動的に再起動します。）
この機能は、**⚙️（設定）** → **[表示]** → **[プロ設定]** → **[OLEDパネルの設定]** → **[パネルノイズクリア]**メニューでの実行できます。
- 画面上の画像がちらつく、不規則に振動する。
 - 本製品が冷えている状態でモニターの電源をオンにすると、画面がちらつくことがあります。これは液晶パネルの特性であり、製品不良、故障ではありません。
 - グラフィックカードが表示している解像度と垂直走査周波数（リフレッシュレート）が本製品が対応しているか確認してください。
- 背景に縞模様が表示される。
 - D-Subアナログ信号 - リモコンの**AUTO**ボタンを押して、現在のモードに最適な画面状態を自動選択してください。さらに調整が必要な場合には、OSDメニューで、手動で表示設定を調整してください。
- 水平方向のノイズが表示されます。または、文字がぼやけています。
 - D-Subアナログ信号 - リモコンの**AUTO**ボタンを押して、現在のモードに最適な画面状態を自動選択してください。さらに調整が必要な場合には、OSDメニューで、手動で表示設定を調整してください。
- 画像が表示されません。
 - パネルとサイネージボックスの間にケーブルが正しく接続されていることを確認してください。

画面（色）に関する問題

- 色合いが正常に表示されない。
 - PC設定を使用して、色を24ビット（トゥルーカラー）以上に設定します。
- 画面の色が不安定またはモノクロで表示される。
 - 映像信号ケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、グラフィックカードがスロットに正しく挿入されているか確認してください。※グラフィックカードの確認をする際は必ずPCの電源をコンセントから抜いて確認してください。
- 画面上に暗い点と明るい点が表示される。
 - 液晶パネルまたは有機ELパネルは非常に高精細に作られており、画面の一部にドット抜け（ごく小さな赤、緑、青、黒などの点）が見えることがあります。これは製品不良、故障ではありません。
- 画面が暗い。
 - 明るさとコントラストを調整してください。
 - バックライトの修理が必要な場合もあります。

音に関する問題

- 音が聞こえない。
 - オーディオケーブルが正しく接続されているか確認してください。
 - 本製品または外部デバイスの音量を調整してください。
 - サウンドが適切に設定されているか確認してください。
- 音がクリアでない。
 - イコライザーの設定を調整してください。
- 音量が小さすぎる。
 - 本製品または外部デバイスの音量を調整してください。
- 一部のモデルでは、スピーカーが内蔵されていないため、個別に外部スピーカーの購入が必要となる場合があります。

その他の問題

- 電源が突然オフになる。
 - スケジュール関連の設定で、自動オフ機能が有効になっていないか確認してください。
 - 電源が適切に供給されているか確認してください。本製品の電源ケーブルが適切に接続されているか確認してください。
 - 電源コントロールの設定を確認してください。
 - ファンが正しく作動しているか確認してください。
ファンの状態を $\blacktriangle$ （ホーム）→[情報]→[ファンの状態]で確認してください。

注意

- 同一の静止画を長時間表示し続けると、パネルに焼き付きが発生することがあります。焼き付きを低減するために、画面サイズに対して設定された1日の推奨時間を超えないようにして、文字やロゴが固定した位置に永続的または断続的に表示し続けられないコンテンツの使用をお勧めします。
1日の推奨時間（55インチ：18時間、65インチ：12時間）
- [パネルノイズクリア]機能の実行時に、画面に横線が数本表示されることがあります。これは不良または故障ではありません。[パネルノイズクリア]機能の実行中に電源をオンにしたり、停電が発生した場合、パネルノイズクリア機能が正しく動作しないことがあります。
- [パネルノイズクリア]機能の実行の5分後に、電源をオンにします。
- [パネルノイズクリア]機能の実行中に、接続した外部スピーカーから音が出力されることがあります。
- [パネルノイズクリア]：電源が長時間オンになっているときに、パネルに発生する可能性がある問題を修正します。
- 画面の焼き付きを防ぐため、[OLED/パネルの設定]で、[画面保護モード設定]機能を使用してください。

タッチに関する問題

- ・ タッチに応答しない。
 - PCと製品の間にUSBケーブルが接続されていない場合、この現象が発生することがあります。USBケーブルを取り外し、10秒経ったらもう一度接続します。
 - PCの電源コードがコンセントにしっかりと差し込まれているかどうかを確認し、PCを再起動します。
 - ネットワークが不安定なためにシステムがダウンしている場合、タッチが応答しないことがあります。LANケーブルを接続し直すか、PCを再起動します。
 - PCと製品の間に信号ケーブルで接続されていない場合、タッチが応答しません。信号ケーブルの接続を確認します。
 - 製品の電源が入っていない場合、タッチが応答しないことがあります。製品の電源を確認します。
 - アース付きコンセントを使用しないと、破損やタッチエラーの原因になる可能性があります。常に電源コードをアース付きコンセントに接続してください。
 - 画面が現在オンになっているかどうかを確認します。
 - 以下のような場合に、破損やタッチエラーが発生することがあります。
爪や指先だけで画面にタッチした場合
- ・ タッチの場所がタッチ座標に対応しない。
 - タッチスクリーンが適切にキャリブレーションされていない場合、この現象が発生することがあります。タブレットPCの設定を変更します。
- ・ 意図したモニターとは異なるモニターにタッチが適用される。
 - 複数のモニターを使用している場合、このモニターがデフォルトのモニターに設定されていなければ、この現象が発生することがあります。このモニターをデフォルトのモニターに設定します。
 - タッチスクリーンが適切にキャリブレーションされていない場合、この現象が発生することがあります。タブレットPCの設定を変更します。
- ・ マルチタッチに応答しない。
 - 再生されるコンテンツ（Flash Player、ペイントなど）がマルチタッチをサポートしていないことがあります。使用しているコンテンツが、マルチタッチポイントをサポートしているかどうかを確認してください。
 - USBケーブルを取り外し、10秒経ったらもう一度接続します。
 - コンテンツ（Flash Player、ペイントなど）を再び実行します。
 - PCを再起動します。
 - タッチスクリーンの端では、マルチタッチの動作が不安定になる場合があります。
 - タッチポイント間の隙間が狭すぎると、タッチエラーが発生することがあります。

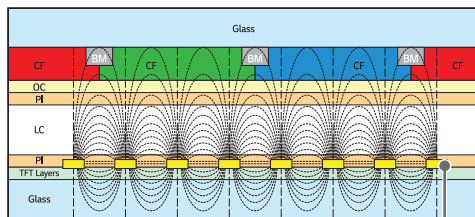
残像

- 製品の電源をオフにすると、残像が表示される。
 - 同じ画像を長時間表示しつづけると、ピクセルが焼きつくおそれがあります。焼き付きを防ぐため、スクリーンセーバー機能を使用してください。
 - コントラストの高い画像（黒と白またはグレー）の表示後に黒い画像を表示させると、残像が発生する可能性があります。これは本製品の特性であり、不良や故障ではありません。
- LCDパネルが静止画像を長時間表示した場合、液晶を動作させている電極間に電圧の差が生じる場合があります。この電圧の差が電極間で徐々に高まってくると、液晶が一定方向に停滞する傾向が強まります。このため、直前に表示されていた画像が残ることになります。この現象を残像と呼びます。
- 常に動きのある映像を表示している場合には残像は生じませんが、静止画を長時間表示すると残像が発生する場合があります。このため静止画を表示する際は、残像を防止するために以下の注意にしたがって本製品を使用することをお勧めします。最低12時間に1度は画面を切り替えることで、残像の発生を抑えることができます。さらに頻繁に切り替えを行うことで、より効果的に防止することができます。

・ 望ましい動作条件

1 背景と文字の色を一定の時間間隔で切り替える。

- 色を切り替える際、補色（6色相環で正反対になる色）を表示させることで、残像の発生をより防ぎやすくなります。



ITOまたはMoTiピクセルレイヤー

2 画像を一定の時間間隔で切り替える。

- 切り替え前の文字や画像は、切り替え後も必ず同じ場所に表示されるようにしてください。



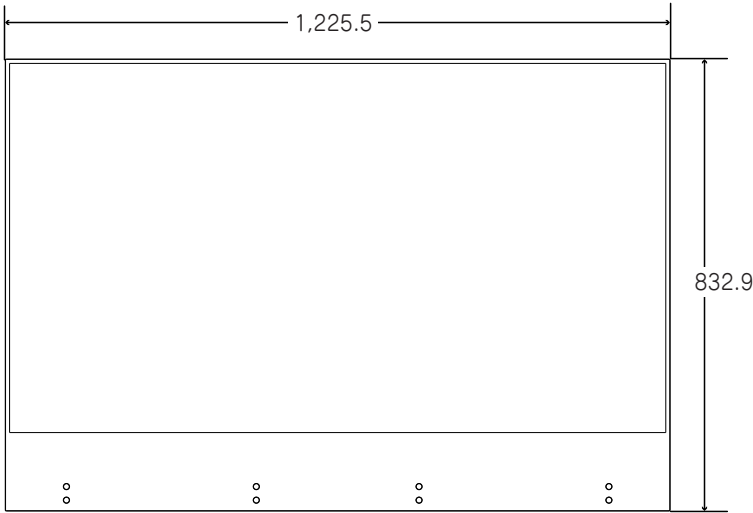
製品仕様

以下の製品仕様は、製品の品質向上のため、予告なく変更されることがあります。
" ~ "は交流（AC）を表し、" --- "は直流（DC）を表します。

OLED画面	画面タイプ	薄膜トランジスター（TFT） OLED画面
動作条件	日常的な利用	18時間（映像）
映像信号	最大解像度	3840 x 2160（30 Hz） - OSまたはグラフィックカードタイプによってはサポートされていない場合があります。
	推奨解像度	1920 x 1080（60 Hz） - OSまたはグラフィックカードタイプによってはサポートされていない場合があります。
	水平周波数	30 kHz～83 kHz
	垂直周波数	56 Hz～60 Hz
	同期	セバレート同期、デジタル
入力/出力ポート	HDMI IN, DP IN/OUT, USB 2.0 IN, TOUCH USB IN, AUDIO OUT, TOUCH OUT RS-232C IN/OUT, IR IN, LAN IN/OUT, AC IN	
内蔵式バッテリー		適用
環境条件	動作温度	0 ° C～40 ° C
	動作湿度	10 %～80 %
	保管温度	-20 ° C～60 ° C
	保管湿度	5 %～85 %
OLEDパネル	ピクセルピッチ	0.630 mm（横）x 0.630 mm（縦）
電源	定格電圧	100 V～、50/60 Hz、3.7 A
	消費電力	オンモード：250 W（標準） スリープモード：≤ 0.5 W スタンバイモード：≤ 0.5 W
寸法（幅 x 高さ x 奥行） / 重量	ディスプレイ	1,225.5 mm x 832.9 mm x 7.0 mm/14.6 kg
	サイネージボックス	782.8 mm x 238.4 mm x 34.7 mm/3.4 kg

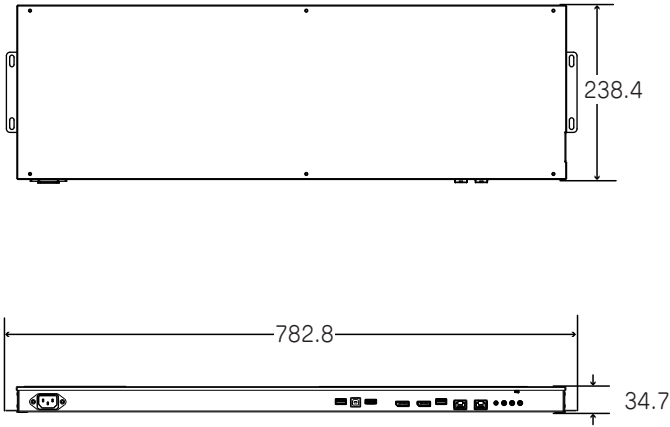
ディスプレイ

(単位 : mm)



サイネージボックス

(単位 : mm)



HDMI/DisplayPort (PC) サポートモード

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
800 x 600	37.879	60.317
1024 x 768	48.363	60.0
1280 x 720	44.772	59.855
1366 x 768	47.7	60
1280 x 1024	63.981	60.02
1680 x 1050	65.290	59.954
1920 x 1080	67.5	60
3840 x 2160	67.5	30

HDMI/DisplayPort (DTV) サポートモード

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
480/60p	31.5	60
576/50p	31.25	50
720/50p	37.5	50
720/60p	45	60
1080/50i	28.1	50
1080/60i	33.75	60
1080/50p	56.25	50
1080/60p	67.432	59.94
1080/60p	67.5	60
2160/30p	67.5	30

 ヒント

- 垂直走査周波数：映像を表示するために、モニターは毎秒数十回画面を表示しなおします。1秒間で画面が切り替わる回数を「垂直周波数」または「リフレッシュレート」と呼びます。単位はHzです。
- 水平走査周波数：横線1本を表示するためにかかる時間を「水平サイクル」と呼びます。1秒間で表示される横線の数は、1を水平サイクルで除算することにより計算できます。これを水平周波数と呼びます。単位はkHzです。

ライセンス

サポートされるライセンスは、モデルによって異なる場合があります。ライセンスの詳細については、www.lg.com/jp にアクセスしてください。



HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interfaceという語、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Vision、Dolby Vision IQ、Dolby Audio、Dolby Atmos及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。

DTS特許については、<http://patents.dts.com>を参照してください。DTSライセンスリミテッドからの実施権に基づき製造されています。DTS、シンボル、&DTSおよびシンボル、DTS 2.0 Channel、DTS 2.0+Digital Out、DTS-HD、DTS Virtual:Xは登録商標はDTS, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。DTS, Incは、すべての権利を保有します。





製品のモデルとシリアル番号は背面と側面にあります。サポートが必要になったときのため、下記にご記入ください。

モデル

シリアル番号

この機器の電源をオンまたはオフにしたときの
一時的なノイズは、正常な動作です。